



国立大学法人山梨大学  
プレスリリース

プレスリリース

平成28年9月30日

各報道機関 御中

山梨大学附属図書館

大村智先生推奨・櫻井孝美氏作「絵画」の設置について（お知らせ）

山梨大学では、「ノーベル医学・生理学賞」を受賞された本学特別荣誉博士・大村智先生から、櫻井孝美氏作の絵画「富嶽・輝」を寄附していただき、医学部附属病院玄関ホールに設置（8/30 除幕式を実施）したところですが、このたび、大村智先生推奨・櫻井孝美画伯寄贈の絵画2点を学生、教職員、また一般の方にもご覧いただけるよう附属図書館（甲府キャンパス1点、医学部キャンパス1点）に展示いたしました。

寄贈していただいた絵画と設置場所は以下のとおりです。



「富嶽・暁」（2015年制作）

サイズ：F80号（145 cm × 112 cm）

設置場所：甲府キャンパス・附属図書館



「富嶽・悠」（2016年制作）

サイズ：F12号（61 cm × 50 cm）

設置場所：医学部キャンパス・附属図書館

〈問合せ先〉

山梨大学総務部総務課広報企画室 望月

TEL 055-220-8005 FAX 055-220-8799

E-mail koho@yamanashi.ac.jp



国立大学法人山梨大学  
プレスリリース

### ○櫻井画伯の紹介

櫻井孝美（さくらい たかよし）

1944年 埼玉県生まれ

1968年 日本大学芸術学部美術学科 卒業

富士吉田市にアトリエを構える

1982年 「山梨美術協会展」協会賞

1983年 「山梨芸術祭優秀賞」、「土日会K氏賞」並びに「近代美術協会奨励賞」

1984年 「山梨県新人選抜展山梨県立美術館賞」を受賞

以来、画壇の芥川賞とも言われる「安井賞」の受賞をはじめ、

「東京セントラル美術館油絵大賞展大賞」

「IBM 絵画イラストコンクール展グランプリ」

「現代美術の祭典準大賞」、「昭和会賞展昭和会賞」

「富士吉田市文化功労賞」、「野口賞」など数々の賞を受賞

作風は大胆な構図、明るい色彩、パワー溢れるもので、富士や華太陽を描く独自の世界が有名、特に、富士の麓に移り住んで以来、圧倒的な存在感、威容を持つ富士山を描き続け、赤、黄などの原色を大胆に使った力強い作風が特徴となっている。

また、国内はもとより、中国福建省やニューヨークアジア美術館で開催された「日中現代美術交流展」への出展、フランス・シャモニーでの個展開催など、海外でも広く活躍され、高い評価を得ている。

なお、9月9日（金）から14日（水）までの6日間、甲府市岡島百貨店5階ギャラリーで個展を開催済。

更に、上記のような芸術活動に加え、母校である 日本大学大学院芸術学研究所客員教授として、後輩の育成及び日本美術界の発展にも貢献。

このほかにも、

土日会会員代表、

日本美術家連盟、日本ガラス絵協会、日本建築美術工芸協会、山梨科学アカデミー、

ぶどう酒技術研究会、NPO法人富士北麓まちづくりネットワーク 会員

NPO法人芸術文化振興センター 顧問

富士吉田市文化協会 理事 等として、幅広く活躍されています。